セゾンマルチシリーズ　据付説明書

FDKJ(P)　28HKXD1～71HKXD1

PSB012D080

本説明書は、室内ユニットの据付方法を記載してあります。
リモコン及び電気工事の方法は、**電気配線工事説明書**（室内ユニット付属）をご覧ください。
総合工事仕様と室外ユニットの据付方法は、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

適用機種	インバータマルチ	小形ユニット	ヒータレス	28H, 36H, 45H
			ヒータ付	28H-E
		大形ユニット	ヒータレス	71H

〈おねがい事項〉

○取扱説明書を見ながら、お客様に実際に操作していただき、正しい運転のしかた（特にエアフィルタの清掃、運転操作のしかた、温度調節の方法）をご指導ください。
○長期間使用しない時は、電源スイッチを切るようにお客様にご指導ください。
電源スイッチを入れたままにしておきますと、クランクケースヒータに通電されエアコンを使用しなくても電力を消費することになります。

工事完了後、これだけは再チェック願います。

チェック項目	不良だと	チェック欄
室内ユニットの取付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
パネルの取付けはしっかりしていますか。	落下、振動、騒音	
吹出口、吸込口に障害物はありませんか。	冷えない	
ショートサーキットしませんか。	冷えない	
冷媒漏れはありませんか。	冷えない	
ドレン水はスムーズに流れますか。	水漏れ	
断熱は冷媒配管・ドレン配管共に確実にされていますか。	水漏れ	
誤配管はありませんか。	運転不能	

据付のまえに

○据付はこの据付説明書に従って正しく行ってください。
○工事計画にあっておりますか。

→ 機種・電源仕様 → **確認してください** → 配管・配線・小物部品

付属品

① 配管関係

1	パイプカバー		1個	ガス側用
2	パイプカバー		1個	液側用
3	バンド		4個	

注）リモコンは別売品でユニットには付属されません。

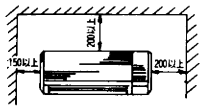
② 据付関係

1	吊板		1個	
2	丸木ネジ		6個	吊板用 径6mm×長さ25mm
3	タッピンネジ		1個	本体固定用 径4mm×長さ8mm
4	配管サポート		2個	
5	電源クランプ		1個	

据付場所の選定

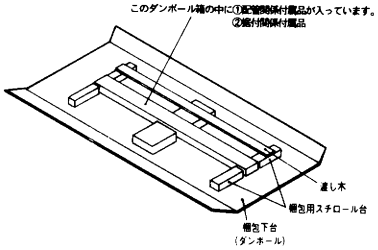
（お客様の承認を得て据付場所を選んでください。）

（室内機）**据付スペース**



○冷風または温風が十分行きわたる所。
据付高さが3mを超えると暖気が天井にこもりますので、サーキュレータの併設をご指導ください。
○室外への配管、配線のしやすい所。
○ドレン排水が完全にできる所。
○据付部の壁がユニット重量に耐えられるだけ強固である所。
○本エアコンはJIS露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、高湿度雰囲気（露点温度23℃以上）で運転すると水滴が落下するおそれがあります。このような場所への設置はしないでください。
○エアコン本体とリモコンはテレビやラジオなどから1m以上離してください。
○吸込口、吹出口に風の障害物のない所。火災報知器の誤動作しない所。ショートサーキットしない所。
○油の飛沫や蒸気の多い所はさけてください。（例：調理場、機械工場）熱交換器の性能低下・腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
○直射日光が当らない所。
○高周波を発生する機械がある所は、さけてください。
ノイズ発生によるコントローラの誤動作の原因となります。
○腐食性ガス（亜硫酸ガスなど）、可燃性ガス（シンナー、ガソリンなど）の発生、滞留の可能性のある場所はさけてください。
熱交換器の腐食、プラスチック部品の破損の原因となります。
○冷媒ガスが漏れたとき、周囲の空気が限度濃度を越える恐れのある場合は窒息防止のため隣室との間の開口部やガス漏れ検知警報と連動する機械換気装置などの取付けが必要となりますのでご注意ください。

付属品収納場所（梱包時）



●ユニットの下の梱包下台（ダンボール）の上に左図に示す如く①，②の付属品をダンボール箱に入れて置いてあります。

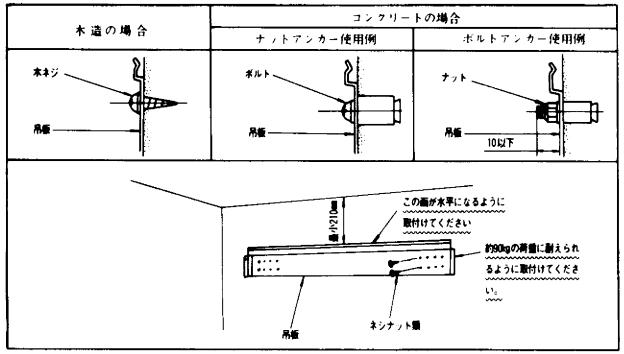
ユニットの搬入、据付

搬　入

◉室内ユニットは機種によって異なりますが重量が約20kgあります。したがって据付けようとする場所がそのユニットの重量に耐えられるかどうか検討し、危険と思われましたら板あるいは桁等で補強して据付作業を行ってください。
また、このユニットを直接壁面等に据付けることはできません。いずれの場所に据付ける場合にも**必ず付属の吊板を使って据付けてください。**

吊板固定

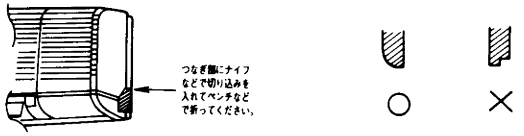
○壁面に取付ける場合は型紙にしたがって吊板の**左右が水平になるように**強固に取付けてください。



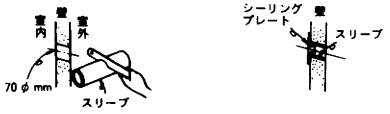
●コンクリートの場合は、市販のアンカー類（M6）を使用してください。

配管取出口の処理（後・右・左3方向取出可能）

○ユニットの配管取出口を下図のように処理してください。**(左右抜きの場合のみ)**
切り取った面はナイフなどできれいに仕上げてください。



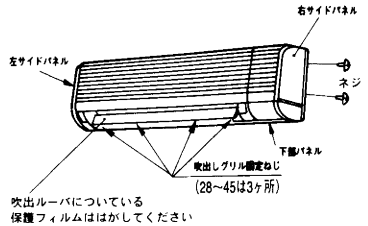
壁の穴あけ要領



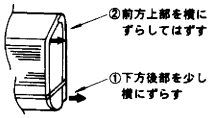
○室内から室外にむかって下り勾配（5°）をつけてください。

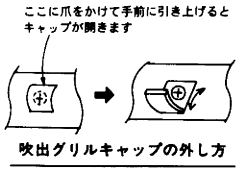
パネルの取外し

◉後方、または右抜き配管の場合
①右サイドパネルを外してください。
●側面後方のねじ（2本）を外します。
●サイドパネルの下方後部を少し横にずらしてサイドパネルの前方上部を横にずらしてはずしてください。



◉左抜き配管の場合
①さらに左サイドパネルを外してください。
②下部パネルを外してください。
●吹出しグリル下部のねじを**ゆるめます。**ねじ隠しとしてキャップがかぶせてありますのでキャップをあけてねじを**ゆるめます。**
●**ねじは外さないでください。**
●下部パネルの締付ネジを外し、下に引いて外します。

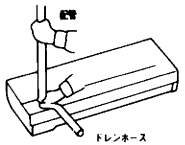




吹出グリルキャップの外し方

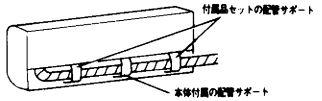
配管の整形（後方または右抜き配管の場合）

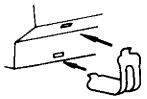
●配管の根元を押さえ向きを変えてから延ばし整形してください。



配管サポートの取付（左抜き配管の場合）

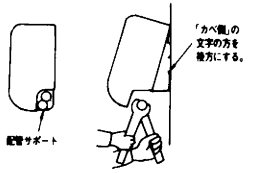
●配管サポートは、本体の浮き上りを防止するためのものです。左抜き配管された場合は付属の配管サポート（2コ）を加えて本体に取付けます。
●後抜き、右抜き配管された場合でも、移設後必要になる場合がありますので保管しておいてください。





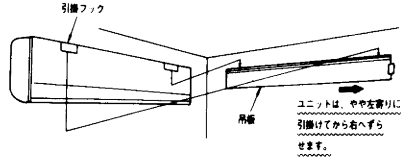
配管接続（左抜き配管の場合）

●吊板に本体を引掛けたのち、ユニットに付属の配管サポートをはずし図のようにつけ替えますとユニットを持ち上げる手間が省け、配管接続作業がスムーズに行えます。



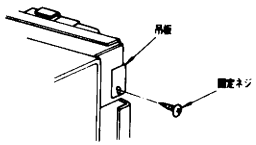
ユニットの据付

●図のように室内ユニットを据付けます。



ユニットの固定

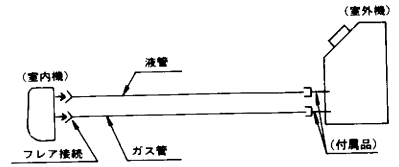
●固定ねじでユニットと吊板を固定してください。



冷媒配管

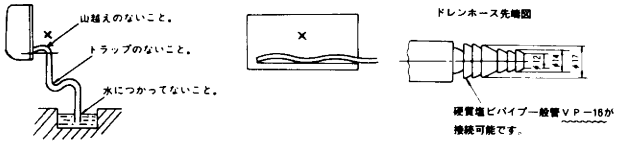
○配管は下記材質のものをご使用ください。
〈材質〉リン脱酸銅継目無管１種（C1220T, JIS H3300）
○**ガス側配管、液側配管とも断熱は完全に行ってください。**
・ガス側配管は、暖房時最高温度が120℃になりますので、それに耐える断熱材をご使用ください。
○冷媒は、室外ユニットに充てんされています。現地配管分のみ（大容量マルチの場合は室内機台数による追加も必要となります）を充てんしてください。
○配管の曲げはできるだけ大きな半径で行ってください。曲げなおしを何回も行わないでください。
○ユニットの配管端部のフレアナットは必ず２丁スパナで取り外し配管接続後は、２丁スパナでしっかりと締め付けてください。
○フレアナット接続時は、フレアねじ部に冷凍機油を塗り、最初は３回～４回手回しでねじ込んでください。
○配管の継手部は、ガス漏れチェック後付属の継手用断熱材をかぶせ、両端を付属のクランプ材でしっかりと締め付けてください。
○配管はねじったり、つぶしたりしないでください。
○配管内はゴミ・切粉・水分が混入しないよう施工してください。
○本エアコンはＪＩＳ露付条件で試験を行い不具合のないことを確認しておりますが、配管部が高湿度雰囲気（露点温度23℃以上）の場合は、配管部から水滴が落下するおそれがあります。このような場合配管、ドレン配管にさらに10～20㎜の断熱材を取付けてください。

配　管　冷媒配管は下図のように接続してください。



ドレン配管

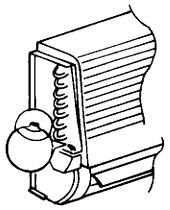
○ドレン配管はドレン水が流れやすいように下り勾配にし、配管途中にトラップをつくったり山越え配管をしないようにしてください。**（左、右、後方向に取出し可能）**
室内に施工の硬質塩ビパイプ（ＶＰ－16）は冷媒配管同様に必ず保温してください。
ドレン配管の出口は、臭気の発生する恐れのない場所に施工してください。
ドレン配管はイオウ系ガスの発生する下水溝に直接入れないでください。



排水テスト

◉仕上げ補修が終了後、室内ユニットの露受に「やかん」等で水を注ぎ、スムーズに流れることを確認してください。

○水を注ぐ場合、必ずユニットの**左側**で行ってください。右側は電装品が多数有り危険です。



電気工事及び試運転

同封の**電気配線工事説明書**を御覧ください。

セゾンマルチシリーズ　電気配線工事説明書

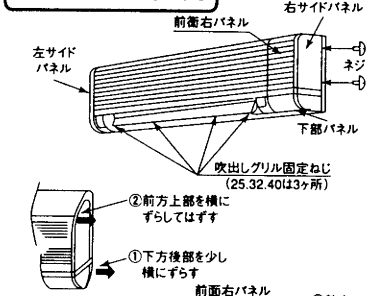
FDKJ(P)　28HKXD1～71HKXD1

PSB012D512

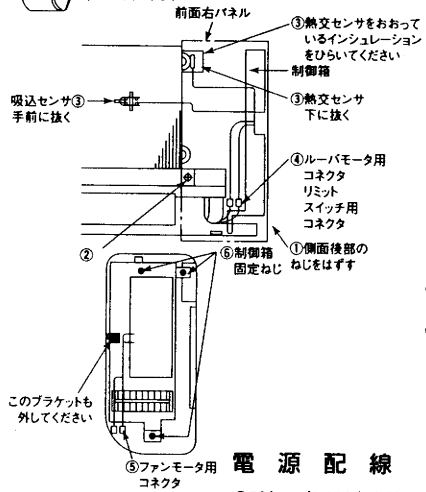
安全上の注意事項については、ユニット付属の据付説明書に記載してありますので、必ずご参照いただきますようお願いします。

電気配線工事は電力会社の認定工事店で行ってください。

① 電気配線接続



★右サイドパネルをはずしてください。
●側面後方のねじ(2本)を外します。
●サイドパネルの下方後部を少し横にずらして、サイドパネルの前方上部を横にずらしてはずしてください。（電源線、信号線、リモコン線が接続できます。）



御　参　考

制御箱の取り外し方

①前面右パネルをはずしてください。側面後部のねじをはずし前面パネルをはずしてください。
②吸込グリル（右）をとめているねじ1本をはずしてください。
③各センサーをはずしてください。
④ルーバモータ用コネクタ、リミットスイッチ用コネクタをはずしてください。
⑤ファンモータ用コネクターを2個外してください。
⑥最後に制御箱の固定ねじを外し、ユニットから制御箱を取り外してください。

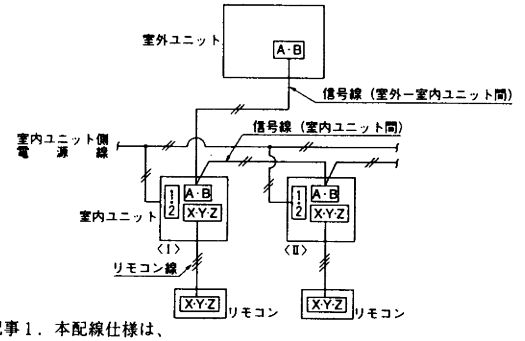
電　源　配　線

●電気工事は電力会社の認定工事店で行ってください。

本配線仕様は、
1）電線は銅線以外のものを使用しないでください。
2）電源は、室外ユニット・室内ユニットの夫々別電源（標準仕様）
3）電気ヒータレス機と電気ヒータ付機を記載してあります。尚、各仕様値の計算は、組合せ可能最大ケースにて計算してあります。組合せ機種・台数等にて、値は、若干異なりますが（低下傾向）微少のため、同値としてください。
注）別売の電気ヒータを組込む場合は、電源仕様、配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。
4）同一系統内の室内ユニット電源は、必ず全て同時ON・同時OFFになる様にしてください。
5）信号線と電源線の接続を間違えますとすべての基板が焼損してしまいますのでご注意ください。

配線系統図

〔室外・室内ユニット接続要領〕



記事1．本配線仕様は、
1）電源は、室外ユニット・室内ユニットの夫々別電源
2）電気ヒータ（別売品）含まず
にて記載してあります。
注）別売の電気ヒータを組込む場合は、電源仕様、配線仕様および配線本数が異なりますので、ご注意ください。

2．電源仕様

	室内ユニット用		
配線用しゃ断器定格電流（A）	室内ユニット合計電流（A）	10A未満	20
		10A以上15A未満	30
		15A以上22A未満	40
		22A以上27A未満	50
漏電しゃ断器定格電流（A）		10A未満	20,30mA.0.1sec以下
		10A以上15A未満	30,30mA.0.1sec以下
		15A以上22A未満	40,30mA.0.1sec以下
		22A以上27A未満	50,100mA.0.1sec以下

室内ユニット接続線は5.5mm²まで可能です。8mm²以上は専用ブルボックスを使用し室内ユニットへ分岐してください。

3．配線仕様

電源配線		室内ユニット間電源配線	信号線	
室内側		系統間	室外～室内(1)	室内(1)～(2)～
		mm²×本数	mm²×本数	
室内ユニット合計電流(A)	10A未満	2×2本（こう長23m）	0.75 / 2.0 ×2本	0.75 / 2.0 ×2本
	10A以上15A未満	3.5×2本（こう長23m）		
	15A以上22A未満	5×2本（こう長23m）		
	22A以上27A未満	8×2本（こう長23m）		

注）内線規定に従い、配線こう長より配線太さを見直してください。

冷暖フリーマルチ（224H, 280H, 560H）の場合

分流コントローラの配線

●本ユニットを冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）の据付説明書をご覧ください。

② アドレス設定

（1）自動アドレス設定
（2）手動アドレス設定
（3）リモコンアドレス設定

上記3項目については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。
なお、（3）リモコンアドレス設定については、設定可能な機種と不可能な機種がありますので室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

③ リモコン取付と配線

リモコン　リモコンは別売です。

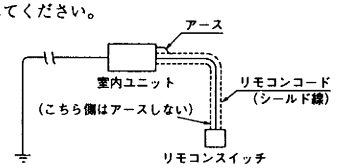
リモコンの据付

お願い 次の位置は避けてください。

1）直射日光の当る場所
2）発熱器具の近く
3）湿気の多い所・水の掛る所
4）取付面に凸凹がある所

リモコンコードを延長する場合の注意 ▶ 最大総延長600m

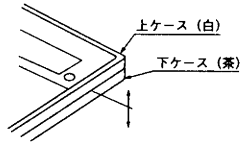
コードは必ずシールド線を使用してください。
●全形式：0.3mm²×3心（MVVS）
注（1）延長距離が100mを越える場合は下記のサイズに変更してください。
100～200m以内……0.5mm²×3心
300m以内……0.75mm²×3心
400m以内……1.25mm²×3心
600m以内……2.0mm²×3心
●シールド線は必ず片側のみをアースしてください。



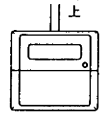
取付要領

露出取付

①リモコンケースをはずしてください。
●側面上方の上ケース（白）と下ケース（茶）に爪を掛け溝を広げはずします。



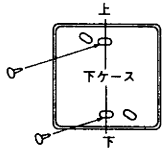
②リモコンコードの取出し方向は、下図のように上方向のみ可能です。



（コード取出し方向）

●リモコン下ケース側の上方薄肉部をニッパー・ナイフ等で切り取った後、ヤスリ等でバリを取ってください。

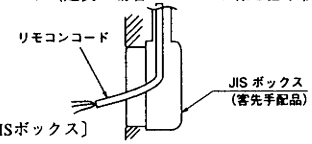
③リモコン下ケースを付属の木ネジ2本で壁に取付けます。



④リモコンコードを端子台に接続してください。室内ユニットとリモコンの端子番号を合わせて接続してください。端子台には極性があるので間違えると運転できません。
端子：Ⓧ赤線、Ⓨ白線、Ⓩ黒線
⑤室内機の機種に応じて機能の設定をしてください。
機能の設定 の項をご覧ください。
⑥上ケースを元通り、下ケースにはめ込みます。
⑦リモコンコードをコードクランプを使用して壁等に固定します。

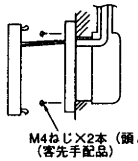
埋込取付

①JISボックスとリモコンコード（延長の場合はシールド線を必ず使用）をあらかじめ埋込んでおきます。

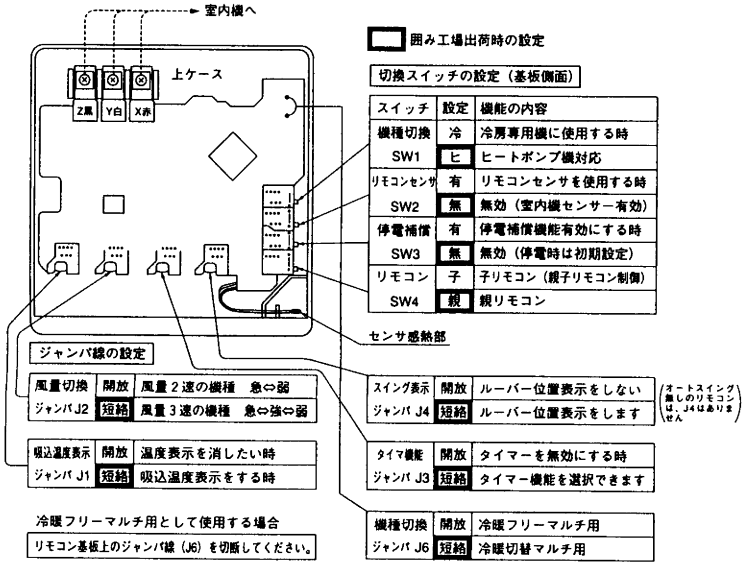


〔使用可能JISボックス〕
● JIS C 8336　1個用スイッチボックス（カバーなし）
2個用スイッチボックス（カバーなし）

②リモコンの上ケースを外してください。
③下ケースをM4ねじ2本（頭φ8以下：客先手配品）でJISボックスに取付けてください。
④リモコンコードをリモコンに接続します。
注）露出取付け の項をご覧ください。
⑤室内機の機種に応じて機能スイッチの設定をしてください。
機能の設定 をご覧ください。
⑥上ケースを元通り下ケースにはめ込み取付完了です。



機能の設定



囲み工場出荷時の設定

切換スイッチの設定（基板側面）

スイッチ	設定	機能の内容
機種切換	冷	冷房専用機に使用する時
SW1	ヒ	ヒートポンプ機対応
リモコンセンサ	有	リモコンセンサを使用する時
SW2	無	無効（室内機センサー有効）
停電補償	有	停電補償機能有効にする時
SW3	無	無効（停電時は初期設定）
リモコン	子	子リモコン（親子リモコン制御）
SW4	親	親リモコン

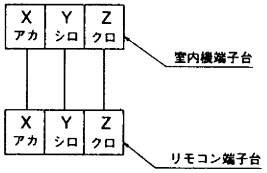
ジャンパ線の設定

風量切換	開放	風量２速の機種　急⇔弱	
ジャンパ J2	短絡	風量３速の機種　急⇔強⇔弱	
吸込温度表示	開放	温度表示を消したい時	
ジャンパ J1	短絡	吸込温度表示をする時	
スイング表示	開放	ルーバー位置表示をしない	（オートスイング無しのリモコンは、J4はありません）
ジャンパ J4	短絡	ルーバー位置表示をします	
タイマ機能	開放	タイマーを無効にする時	
ジャンパ J3	短絡	タイマー機能を選択できます	
機種切換	開放	冷暖フリーマルチ用	
ジャンパ J6	短絡	冷暖切替マルチ用	

冷暖フリーマルチ用として使用する場合
リモコン基板上のジャンパ線（J6）を切断してください。

リモコンと室内の配線

●リモコン配線は極性があります。必ず同一端子台No.同士接続してください。

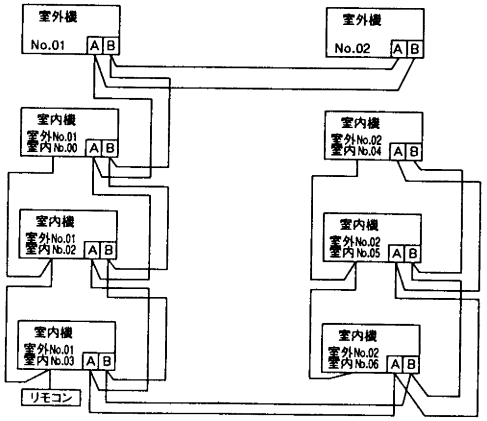


リモコン複数台制御

配線要領

●グループ制御用に各室内機間に渡り配線をします。（3本）
■室内ユニットリモコン用端子台ＸＹＺに、接続してください。なお極性がありますので、同じ端子No.の所へ接続してください。
■配線は0.5mm²以上を使用してください。（配線の引廻しに耐えるもの）
■渡り線、リモートコントローラ配線の総延長は600m以内としてください。
●室内・室外No.を手動アドレス設定にてセットしてください。
■室外機の室外No.設定も必要です。忘れずに設定してください。

●下図の様に室外機が複数台の場合でもリモコン複数台制御可能です。
●1つのリモートコントローラで複数台のユニット（最大16台）をグループ制御できます。

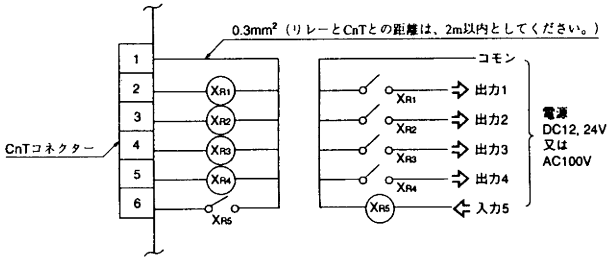


④ 制御の切換

室内機の制御内容を、下記方法にて切換可能です。

	制御切換方法	制御切換内容
室内機	室内基板〔SW-5〕のNo.1をON	遠方発停入力（CNT-No.6）切換 出荷時…レベル入力（反転できない） ↓ 切　換…パルス入力（反転）
	室内基板〔SW-5〕のNo.2をON	暖房時設定温度＋3℃
	室内基板〔SW-5〕のNo.3をON	ドレンモータ運転
	室内基板〔J-2〕切断	オートスイング4位置制御ナシ（フリー位置制御）
	室内基板SW-6のNo.1～4のON・OFFを切換える。	機種 22H 28H 36H 45H 56H 71H 80H 90H 112H 140H 160H 224H 280H 1 0 1 0 1 0 1 0 0 1 0 1 0 1 2 0 0 1 1 0 0 1 1 1 0 0 1 1 3 0 0 0 0 1 1 1 1 1 0 0 0 0 4 0 0 0 0 0 0 0 0 0 1 1 1 1 0はOFF、1はON
	室内基板〔J-3〕切断	暖房サーモOFF時に室内ファンが停止する。
	室内基板〔J-4〕切断	フィルタサイン無効（検知しない）
	室内基板〔J-5〕切断	運転許可禁止制御
	室内基板SW-9のNo.1,2のON・OFFを切り換える（4方向吹出し、4方向吹出しコンパクト）	オートリフトパネルの昇降長さの設定 50Hz地区 60Hz地区 昇降長 SW9-1 SW9-2 SW9-1 SW9-2 1.3m ON OFF OFF OFF 1.6m OFF ON ON OFF 2m ON ON OFF ON
	室内基板〔J-1〕切断	ルーバ角度切換

⑤ 室内基板CnTコネクタの機能



●$X_{R1\sim4}$はDC12Vリレー（オムロン製LY2F相当品）
●X_{R5}は、DC12, 24V又はAC100Vリレー（オムロン製MY2F相当品）
●CnTコネクター（現地側）メーカー、形式

コネクター	モレックス	5264-06
端　子	モレックス	5263T

●機　能

出力1	エアコン運転出力（エアコンON時X_{R1}＝ON）	
出力2	暖房出力	
出力3	サーモON出力（サーモON時X_{R3}＝ON）	
出力4	エアコン点検出力（エアコン点検時X_{R4}＝ON）	
入力5	出荷時	X_{R5} OFF⇒ON　エアコンON
		X_{R5} ON⇒OFF　エアコンOFF
	現地切換（SW5のNo.1をON）	X_{R5} OFF⇒ONのパルス信号によりON/OFF反転

●冷暖フリーマルチとして使用する場合は分流コントローラ（別売品）の据付説明書をご覧ください。
●遠方発停・監視キットを別売品で準備しておりますのでご利用ください。

⑥ 試　運　転

試運転については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑦ 故障診断方法

故障診断方法については、室外ユニット付属の説明書をご覧ください。

⑧ 工事完了後のチェック項目

- ☐ 電源電圧は本体表示と同じですか。
- ☐ 室外機側でアース工事はされていますか。
- ☐ 電源線の太さは指定の配線と同じですか。
- ☐ 電源線、信号線、リモコン線の接続位置は正しいですか。